

～伝統あるチェコの室内楽の響き～

# ザ チェコトリオ

The Czech Trio  
コンサート

プログラム Program

Sylvie Bodorová / \*1954/

„Předobrazy“ [Preview Images] / Frescoes for Piano Trio/

Clara Wieck - Schumann  
Trio in G minor Op.17

Antonín Dvořák  
Dumky Op.90



ミラン・ランガー (ピアノ)

**Milan Langer**

ブラハ音楽院教授



ダナ・ヴラホヴァ (ヴァイオリン)

**Dana Vlachova**

ブラハ音楽院教授



ミロスラフ・ペトラージュ (チェロ)

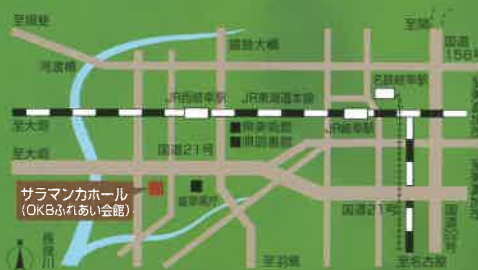
**Miroslav Petras**

ブラハ芸術アカデミー教授、ブラハ音楽院教授

2019年3月9日(土) 14:00開場 / 14:30開演

サランカホール (OKBふれあい会館) 岐阜市薮田南5-14-53

入場料 | 大人 3,000円 (税込) | 高校生以下 1,500円 (税込)



### 会場のご案内

チケット取り扱い・お問い合わせ

岐阜県チェコ友好協会 TEL.058-263-0702 FAX.058-263-0706

OKBふれあい会館サランカホール TEL.058-277-1110

主催 / 岐阜県チェコ友好協会 協賛 / 公益財団法人田口福寿会

後援 / チェコ共和国大使館、岐阜県、岐阜県教育委員会、公益財団法人岐阜県教育文化財団  
協力 / 音楽事務所キューブ



# ザ チェコトリオ

## The Czech Trio

1890年代創立以来1世紀を超える歴史を誇る世界最高峰のピアノ三重奏団。  
チェコ語では「チェスケー・トリオ」という。日本には、チェコが誇る大ピアニストのパーレニー  
チェクが主宰していた時代から来演し、クラシックファンに愛聴されてきた。

1999年から現在のメンバーとなり「これこそ伝統あるチェコの室内楽の響き」と専門家から高  
い評価を得ており、本物だけが持つ「歴史のハーモニー」を心ゆくまで堪能できる。熟成されたア  
ンサンブルは「真に上質な音楽とは何か」「音楽的感動とは何か」という問いに明確に答えてくれ  
る。メンバーはドヴォルザークが学長を務めた名門「プラハ音楽院」と「プラハ芸術アカデミー」  
の看板教授たちであり、ハイ・クオリティなコンサートはもちろん「ぎふ・プラハ音楽院セミナー」  
をはじめ公開レッスンやトークなど、聴衆や学生との交流も積極的に行っている。

東京、名古屋、岐阜をはじめ来日公演はいずれも高い評価を得るとともに、聴衆から熱い拍手  
が贈られている。ゆるぎない伝統の上に、アクティブな芸術を創造し続ける「ザ チェコトリオ」の  
演奏からは、「音楽する喜び」「生きている喜び」が高度なレベルで伝わってくる。



### 演奏家プロフィール

ピアノ  
piano



ミラン・ランガー  
Milan Langer

プラハ音楽院教授。チェコ室内楽界において指導的立場にある音楽家の一人。

プラハ音楽院及びプラハ芸術アカデミーのヴァレンティナ・カメニコヴァ教授、ヴァイマルのフランティスカ・ラウハ、シエナのグイド・アゴ스티など著名な師のもとで学び、ボルザーノ、サンタデア、モスクワの各地におけるコンクールに入賞。さらに「プラハの春」国際音楽祭において桂冠賞を受賞した。国立コンクールでは、スメタナ・コンクール、ショパン・コンクールの勝者となった。

生涯の音楽活動の中心を室内楽に定め、1994年、高名なヨゼフ・パーレニーチェクの後継者として、この名門「ザ チェコトリオ」メンバーとなり、ヨーロッパ全土、アメリカ、日本において演奏活動を行っている。また、母校の教授としてチェコはもちろん、日本をはじめ世界各国の若い演奏家を育成し、高度な指導と温厚な人柄で慕われている。

岐阜県では、1999年から始まったプラハ音楽院との音楽交流「ぎふ・プラハ音楽院セミナー」にて若い演奏家への指導を行っており、この事業によりプラハ音楽院に留学した音楽家は58名余にのぼる。また併せて開催されている留学修了生との師弟コンサートでは、その芸術性の高い演奏で人々を魅了している。

ヴァイオリン  
violin



ダナ・ヴラホヴァ  
Dana Vlachova

プラハ音楽院教授。高名なヴァイオリニスト、ヴラフ弦楽四重奏団主宰であるヨゼフ・ヴラフの次女として生まれ、幼い頃から多くのリサイタルや協奏曲ソリストとしての経験を積んだ。父親の室内楽演奏家としての活動に親しんでいた彼女は、プラハ芸術アカデミーにおけるマリー・フルノヴァ教授との運命的な出会いによって、室内楽演奏家としての道を進む決心をした。ARSピアノ三重奏団メンバーになるとともに、父親のヴラフ、ヨゼフ・パーレニーチェクの室内楽クラスに在籍、研鑽を積んだ。

彼女の演奏の特性は、チェコの伝説的名工 エカスバル・ストウルナートが1797年に製作した「チェコのストラディヴァリ」と呼ばれるヴァイオリンから流れ出る、豊かで多様な表現力にある。1992年「ザ チェコトリオ」のメンバーとなり、チェコ国営放送への出演、ヨーロッパ全土、アメリカ、日本、韓国などにおけるコンサートやマスタークラスで活躍している。岐阜県が行っている「ぎふ・プラハ音楽院セミナー」で若い音楽家の指導をしている。

チェロ  
cello



ミロスラフ・ペトラシュ  
Miroslav Petras

プラハ芸術アカデミー及びプラハ音楽院教授。長年にわたって「ザ チェコトリオ」のメンバーであったサシ・ヴェチトモフに師事。「プラハの春」国際音楽祭において桂冠賞を受賞。国立コンクールではベートーヴェン・コンクールの勝者などの実績をもつ。プラハ交響楽団 (FOK) の首席奏者となった彼は、オーケストラ活動のほか同交響楽団の公式ソリストを長年にわたり務め、ヨーロッパ全土、南北アメリカ、日本、台湾などに足跡を残した。

ソリストとして、ドヴォルザークのチェロ協奏曲をはじめ、サン＝サーンス、コダーイ、ルヒャルト・シュトラウスらの作品がCD化されている。やがて室内楽演奏家として活躍する決心をし、マルチヌーピアノ四重奏団のメンバーとなった。

1999年「ザ チェコトリオ」のメンバーとなり、同年12月の日本公演では就任直後にもかかわらず、絶妙なアンサンブルで会場を沸かせた。日本でもその表情豊かな音楽を学んだ人たちが室内楽奏者として活躍している。

2006年、チェコ共和国大統領から伝統的な儀式にのっとり国家の「教授」の称号を授与された。「プラハ音楽院セミナー」に参加し、若い音楽家の指導を行う。